

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		児童育成手当支給事業費 [児童育成手当支給事業]									
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費	事業番号	5
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	子育て支援 課 手当・助成 係					課長名	新海 隆弘				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書 (ページ)	59		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ・18歳未満の児童を養育するひとり親家庭等の保護者 ・一定の障害を有する20未満の児童を養育する保護者					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内在住のひとり親家庭等の世帯数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進に資する。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 受給対象児童					
	③ そのために何をしましたか。 ①申請受付 決定後 ②審査 ・支払処理 ③所得調査等 ・更新処理 ④決定・通知書送付 ・変更・消滅処理 等					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 受給世帯数					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	不明	不明	不明					
	成果指標	②の数値	件	1,457	1,468	1,458					
	目 標	②の目標値									
目標値設定の考え方											
3 経費	事業費(実績)		円	238,500,141	240,058,310	238,400,869	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	485,141	169,810	179,369					
		特定財源	円	238,015,000	239,888,500	238,221,500					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円		8,244,000	831,000					
		職員人件費(再任用)	円		0						
事業費+人件費		円	238,500,141	248,302,310	239,231,869						
4 環境変化等	(1) 開始年度 s47 年度										
	(2) 環境の変化 昭和47年1月施行 東京都交通遺児手当制度・東京都児童手当が前身。離婚・死亡等で父又は母が不存在の児童や、一定の障害を有する児童を対象として支給されることとなった。義務教育修了前児童のうち第3子以降の児童が対象となる一般手当もあった。 国児童手当発足に伴い、東京都児童手当のうち一般手当が移行され、ひとり親対象の制度としての側面が強くなった。										

事業名称	児童育成手当支給事業費 [児童育成手当支給事業]			
担当部署・課長名	子育て支援	課	手当・助成	係 課長名 新海 隆弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	市民の方から、受給中の方が受給資格がないのではないかという通報が寄せられることがあるが、そのたびに該当者に対して聴取や訪問を行っている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
特になし				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	特になし			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	平成31年度東京都指導監査における指摘事項の改善。			
8 施策貢献状況	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	特になし			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 適正な窓口受付、事務の執行			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
特になし				